

# 平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター  
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）  
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階  
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555  
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp  
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>  
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 184

2016年  
4月号  
(4月1日)

発行責任者  
藤本講治

## ――目次――

- 1頁：4月の活動予定（4/1現在）
- 2頁：平和運動センター幹事会・地区労代表者会議開催（3月28日）  
地区労だより（三次地区労組会議）
- 3頁：戦争法廃止！安倍政権退陣！3・19行動
- 4頁：被災62周年3・1ビキニ・デー集会を静岡で開催
- 5頁：福島原発事故から5年「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」開催
- 6頁：「原発のない未来へ！3・26全国大集会」（東京・代々木公園）に3万5000人集る！
- 7頁：食・緑・水・環境を守る広島県民会議第21回（解散）総会  
新聞に見る「ヒロシマ」（2/27～3/28）
- 8頁：ご案内〔「第31回4・9反核燃の日全国集会」「原水禁全国交流集会」〕  
〔「ストップ！戦争法」4月街頭署名行動〕  
〔4・26チェルノブイリデーの取り組み〕  
〔平和といのちと人権を！5・3ヒロシマ憲法集会〕

### 【4月の活動予定】

- 5日(火)11:00 「G7外相会合」原水禁要請＝岸田外相、広島県知事、広島市長
- 7日(木)18:00 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」事務局会議＝JCJ事務所
- 9日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所
- 9～10日(日) 第31回4・9反核燃の日全国集会・六ヶ所フィールドワーク＝青森
- 12日(火)18:30 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」世話人会＝広島弁護士会館
- 13日(水)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室
- 19日(火)17:30 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」街頭行動＝広島市・八丁堀
- 22日(金)18:00 平和運動センター5回常任幹事会＝平和運動センター事務所
- 26日(火)12:15 チェルノブイリデー座り込み行動＝原爆慰霊碑前  
18:00 チェルノブイリデー講演会＝自治労会館
- 27日(水)13:00 原水禁国民会議第91回全国委員会・平和フォーラム第18回総会＝日本教育会館

## 平和運動センター幹事会・地区労代表者会議開催(3月28日) ＝「平和といのちと人権を！5・3ヒロシマ憲法集会」に結集を＝

3月28日、自治労会館において第4回常任幹事会・第2回幹事会・地区労代表者会議を開催しました。開会にあたり佐古議長は、「原発再稼働について大津地裁で高浜原発運転差止め決定がされ、潮目が変わりつつある。引き続きフクシマに連帯して脱原発の取り組みを行う必要がある。」とあいさつしました。



活動報告では、「戦争法廃止3.19日行動」、「被災62周年3.1ビキニ・デー集会」「フクシマを忘れない！さようなら原発3・12ヒロシマ集会」「部落解放県共闘会議第28回総会」「食・緑・水・環境を守る県民会議第21回(解散)総会」などの報告を行いました。

協議事項では、①春季護憲運動「平和といのちと人権を！5・3ヒロシマ憲法集会(ハノーバー庭園)の開催、「戦争法の廃止を求める街頭署名活動」を強化する。②4.26チェルノブイリデーの取り組み(座り込みと講演会の開催)。③部落解放共闘運動への参加〔2016部落解放・人権啓発講座(5月22日＝三原市)、狭山事件の再審を求める中央集会(5月24日＝日比谷野外音楽堂)〕。④「アジア・アフリカ支援米」田植えを5月21日に安芸高田市で実施する。などを確認しました。

当面、戦争法廃止の「2000万人署名」の第一次集約(4月25日)に向けて、職場や地域で頑張り合ひましょう。

## 地区労だより【三次地区労組会議】

### ＝地域から幅広い共闘関係を築いています＝

平和・民主主義三次地区労働組合会議は、昨年12月15日に第21回の定期総会を開催し、2015年度の総括を行い2016年度の活動方針を確認しました。活動方針については、大きな変更などはありません。しかし、安全保障関連法の施行や原発の再稼働、あるいは再稼働の差し止め、そして、現在三次市においては市議会議員選挙の真っ最中でありませんが、夏には国政選挙も控えており、目まぐるしい情勢の変化と多岐にわたる多くの課題が目前にあります。



従来三次地区労では、県平和運動センターの運動方針に基づいて運動を進めるのは当然のこととしながら、連合備北地域協議会との連携も深めてきました。旗開きやメーデーは、労福協や同盟も交え、実行委員会を立ち上げて、共催という形で開催してきました。夏の「草の根平和行進」についても連合備北地協に実行委員に加わっていただき、実施しています。また、現在行われている三次市議会議員選挙についても、従来は連携議員ということで「市民クラブ」に属する議員を地区労独自で応援してきましたが、今回の選挙では、安全保障関連法に関し議会内で反対派と賛成派とが拮抗している状況もあり、より広い枠組みの中で結集し労働者の代表としての議員を送り出すべく、連合地協、地区労、各単組代表とが協議し、連合備北地域協議会「支援」候補者として6名の候補の支援を決め、必勝を期して取り組んでいます。

まだまだ難しい課題も数多くありますが、1つずつ解決し、連合備北地域協議会との連携を強化しながら、「護憲・平和・民主主義・人権・環境」について、取り組みを進めていきます。（三次地区労務局長 久野満康）

## 戦争法廃止！安倍政権退陣！3・19行動

### ＝戦争法施行するな！街頭署名活動・デモ行進＝

3月の戦争法廃止！安倍政権退陣「19日行動」は、3月19日に実施しました。

戦争をさせないヒロシマ1000人委員会は、11時から広島・本通り電停青山前において約50人が参加して街頭署名活動を行い、116筆の署名を集約しました。

午後からは安保法制が29日に閣議決定される情勢の中で「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」主催で、原爆ドーム前から広島弁護士会館まで約200人が参加して「戦争発動を止めよう」と訴えてデモ行進を行いました。その後、弁護士会主催の「小林節講演会」（慶応義塾大学名誉教授・弁護士）に合流。小林さんは、約600人の市民や労組員に「安保法の成立で日本は戦争できる国になった。集団的自衛権の行使を認めたこの法律は憲法違反である。この法律を廃止するためには野党が共闘するしかない」と夏の参院選での野党の結集の必要性を訴えました。



### 「戦争法（安全保障関連法）」施行に対する抗議声明

フォーラム平和・人権・環境  
共同代表 福山真劫

本日3月29日、「戦争法（安全保障関連法）」が施行された。平和フォーラムは、憲法に反する集団的自衛権行使に道を開き、米軍とともに地域的制約なく自衛隊の世界展開を可能にする同法の施行に強く反対する。

安倍晋三首相は、消費税増税先送りの是非を問うとして2014年12月に衆議院総選挙を行い、多数を確保すると、安全保障法制改革の信任を得たかのように主張し、世論の動向に配慮することなく、昨年9月に「戦争法」を強行成立させた。憲法学者のほとんどが、野党が、一致して違憲とする集団的自衛権行使を容認し、反対する者を「安全保障に無責任な勢力」として一方的に断罪する政府と安倍首相の姿勢は、国民の負託を受けて民主主義国家の運営にあたる者としてふさわしくない。

菅義偉官房長官は、「今後とも国民の一層の理解をいただけるよう説明していきたい」と発言しているが、今日まで、そのような政府の努力を見ることはない。「戦争法」が違憲であるかどうかの疑いが晴れることはなく、むしろ懸念は広がっている。

安倍首相は「国民の命をまもるために必要な措置は何か、考えぬいた結果」と、「戦争法」の異議を強調しているが、例えば世界に紛争地で難民などの支援に当たる民間のNGOからは、「軍隊と一線を画すことが、安全につながる。自衛隊の駆けつけ警護は、自らを攻撃対象とす

ることになる」との主張がある。このように「戦争法」の有効性についても疑問の声があがっているが、政府からは何ら納得できる回答はない。

それどころか、政府は参議員選挙をにらんで、PKOに派遣する自衛隊の「駆けつけ警護」や米軍への兵站を担うための日米物品役務相互提供協定（ACSA）改定案の国会提出など、「戦争法」施行にともなう自衛隊の新たな任務については、今秋以降に先送りする方針とされている。野党は「安保法廃止法案」を国会に共同提出しているが、自民・公明多数の中で審議入りの目処も立っていない。政府は、国民の理解をいただくと言うならば、「戦争法」施行に基づく実際の自衛隊の運用方針を示し国会で与野党の議論を開始しなくてはならない。

実際の任務に当たる自衛官や家族からは、不安の声があがっている。任務とされる兵站支援や駆けつけ警護は、戦闘を前提としておりきわめて危険な行為である。自衛隊が、この「戦争法」の施行にともなって戦死者を出すことがあれば、第2次大戦後も世界各地で「自由と民主主義」のためと称して戦争を行い、今日の世界の混乱を招いてきた米国軍と何が違うのか問われることになるに違いない。それは、そのまま日本の戦後が問われることと同義である。

平和フォーラムは、日本国憲法9条の下、集団的自衛権行使を否定し実際の戦闘から距離を置くことで、他国にはできない日本独自の平和への役割があると考え。 「戦争法」施行によって「普通の国」にならんとする現政権の理念なき野望に抗し、参議員選挙での野党勝利、「戦争法」廃止、改憲阻止に向けて、全力でとりくんでいくことを決意する。

## 被災 62 周年 3・1 ビキニ・デー集会を静岡で開催

＝広島県原水禁の秋葉忠利代表委員が講演を行う＝



被災 62 年を迎えた 3.1 ビキニ・デーは、3 月 1 日、焼津市の弘徳寺で久保山愛吉さん墓前祭が行われました。寺の本堂では、講談師の田辺一乃さんが「第五福竜丸」、「ゴジラ誕生秘話」の講談を行いました。

夕刻からの「3.1 ビキニ・デー集会」は静岡市内で開催され、200 人以上が参加しました。集会は、原水禁国民会議の川野浩一議長の主催者あいさつの後、「被爆者と共に『核のない日』を迎えよう」と題して、元広島市長の秋葉忠利さんの講演、福島現地からの報告（福島原告告訴団：武藤類子団長）、静岡県選出の第 18 代高校生平和大使の訴えなどがありました。

秋葉さんは「被爆者は核使用の抑止力になる。被爆者は高齢化しているので、被爆の実相を若い世代に伝えなければならない」と話されました。最後に「平和と民主主義を守り、核兵器廃絶、脱原発、ヒバクシャの援護・連帯に向けて運動を強化しよう」と集会アピールを採択し、集会を終了しました。



## 福島原発事故から5年

### 「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」開催 ＝脱原発を求めて中国電力へ申し入れを行う＝



「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」が3月12日、広島市中央公園で開かれ、中国各県から1,000人を超える参加者が集まりました。主催は平和運動センターや県原水禁、市民団体などで構成する実行委員会。

メインスピーカーの海渡雄一弁護士（脱原発弁護団連絡会）は、大津地裁が高浜原発2、3号機の稼働停止を命じた仮処分に触れ、「司法の中にも変化が起こってきている」と指摘。「確認を持ち、脱原発社会を築こう」と提起しました。

また、福島から参加した飯塚友里子さん（NPO法人いわき放射能測定室たらちね）は、放射能測定器の不足により市民が食品などの安全性や健康に不安を抱えている現状を語り、測定器購入のためのカンパを呼びかけました。島根原発、上関原発、伊方原発で再稼働や建設に反対して活動を続けている現地からの報告を受けた後、「原発の建設や運転をさせないことをあらためて宣言します」とのアピールを採択。参加者はその後、中国電力本社まで市内をデモ行進しました。

なお、会場で取り組みましたカンパは、444,534円のご協力をいただきました。また、前日の11日には、広島・島根の呼びかけ人ら11名が中国電力に対して「島根原発再稼働及び上関原発建設を中止し、原子力発電からの脱却を求める」申し入れ行動を行いました。（県原水禁事務局次長 大瀬敬昭）

2016年3月11日

中国電力株式会社  
取締役社長 荻田知英 様

フクシマを忘れない！  
さようなら原発ヒロシマ集会実行委員会  
連絡先：広島市西区横川新町7-22 自治労会館1階  
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）内

島根原発再稼働及び上関原発建設を中止し、原子力発電からの脱却を求めます

福島原発事故から5年を迎える現在、同原発では、なお熔融核燃料の行方も把握できず、汚染水の環境中への流出も食い止めることができないまま、およそ8,000人の過酷な被曝労働によって現状が維持されています。

また、生活を奪われ、故郷を追われてしまった被災者は福島県だけでも 10 万人を超える人々がまだ苦しい避難生活を余儀なくさせられています。その避難生活の中では、多くの方が「ふるさと喪失感」や生き甲斐をなくし、苦悩の中で暮らし続けています。そして、子どもたちの間では、福島県を中心に、151 人の子どもたちに甲状腺がん及びその疑いが確認され、不安感が広がっています。

このように、いったん重大事故を起こせば、その収束作業は簡単ではなく、働く人や多くの住民の被曝が避けられず、原発事故の影響は計り知れません。目の前で起きた事故を真摯に受け止めれば、貴社がしなければならないことは、危ない技術に再び取り組むことではありません。

それにもかかわらず、貴社は 4000 億円ものシビア・アクシデント対策をおこない、再び島根原発を稼働させようとしています。このことは、原発をなくし安心して暮らせることを切望する住民の願いを踏みにじるものであり、断じて容認することはできません。

また、長年にわたって祝島をはじめとする多くの住民が反対し続けている上関原発は、公有水面の埋め立てすら取り掛かることができていません。福島原発事故を見れば一目瞭然のように、豊かな瀬戸内の海を放射能で汚染させるような愚かな選択をすべきではありません。恵みの海を守り続けてきた山口の人々に、貴社がやるべきことは上関原発建設を中止し、一日も早く安心できる暮らしを保障することです。

私たちは、福島原発事故から 5 年を迎え、被爆地ヒロシマにおいて「フクシマを忘れない！ さようなら原発 3・12 ヒロシマ集会」を開催し、貴社に対して島根原発の再稼働を断念し、上関原発の建設を中止することを改めて要求します。

## 「原発のない未来へ！ 3. 26 全国大集会」(東京・代々木公園)に 3万5000人集る！ =広島から2名が代表参加=



3月26日、東京・代々木公園を会場に「つながろう福島！ 守ろういのち！」をスローガンに「原発のない未来へ！ 3.26 全国大集会」が開かれ、3万5,000人が集まり、憲法や沖縄基地問題などでも民意を無視し暴走する安倍政権にNO！を突き付けました。

午後1時から開催された集会は、ルポライターの鎌田慧さんと作家の澤地久枝さん（ともに「さようなら原発1000万署名」呼びかけ人）が、原発と戦争を進めようとする安倍政権との対決を呼びかけました。澤地さんは、原発輸出推進や安全保障関連法施行など安倍政権の政策に触れ、「私たちはなめられている」「それが日本人の意思であるように言う政治家らをこのままにしておいていいとは思わない」と憤りました。

また、東電元幹部の刑事責任を追及している福島原発告訴団副団長の佐藤和良さんも「フクシマを取り捨てる政権の原子力政策を許すわけにはいかない」と訴えました。さらに、伊方原発、東海原発、福井のもんじゅ、沖縄・辺野古新基地建設など現地報告が行われました。集会後、渋谷駅周辺、原宿・青山方面、新宿方面の3コースに分かれてデモ行進が行われ、参加者は工夫を凝らしたプラカードや横断幕などを手に、「原発再稼働反対！」「安倍政権を許さない！」などとシュプレヒコールをあげてアピールしました。

## 食・緑・水・環境を守る広島県民会議第21回(解散)総会 ＝食・緑・水・環境を守る運動を平和運動センターに引き継ぐ＝

3月8日、ワークピア広島において役員など28人が参加して、「食・緑・水・環境を守る広島県民会議第21回(解散)総会」を開催しました。県民会議の向井高志会長は「福島原発事故により食、みどり、水、環境問題は大きな課題となっている。平和、くらしと環境を守っていくことが平和運動センターの課題である。県民会議の運動を平和運動センターに引き継いで、食・緑・水・環境を守る運動を取り組んでいただきたい」とあいさつしました。

総会では、1年間の活動報告を行った後、食・緑・水・環境を守る運動を平和運動センターの運動に継承していくこととし、県民会議を解散することを決定しました。

また、総会の中で、全農林労働組合中央執行委員の永井和宏さんから「アジア・アフリカ支援米運動の意義と国際連帯」と題して報告を受けました。総会終了後、交流会を催し今後とも平和運動センターの中で食・緑・水・環境を守る運動を継続していこうと確認し合いました。



新聞に見る「ヒロシマ」(2/27～3/28)		
見出しから	日付	新聞
ビキニ被曝「労災」申請 高知の元船員ら	2.27	中国
ビキニ 福竜丸以外の元船員ら 「労災」申請へ	2.28	朝日
原爆ドーム東隣「おりづるタワー」	2.29	中国
原発差し止め 提訴へ 愛媛・伊方1から3号機	2.29	朝日
オール広島で平和発信 県、調整組織の設置検討	3.1	中国
全国から1万件 被爆体験記届く 広島平和祈念館	3.2	中国
被爆体験 映画化へ 広島市長訪問	3.3	中国
パリ市長 中学校交流を提案 原爆慰霊碑に献花	3.3	朝日
平和学研究科新設へ 広島市立大 評価委が了承	3.4	中国
CTBTシンポでスピーチした高校3年	3.7	朝日
首長65%「原発低減・ゼロ」 全自治体調査	3.7	中国
上関訴訟も審理 山本裁判長	3.10	中国
あまりの被曝量「話が違う」 原発作業員と3・11	3.11	朝日
伊方原発差し止め提訴 広島・長崎の被爆者ら67人	3.12	中国
伊方原発運転 差し止め提訴 広島地裁 被爆者ら67人	3.12	朝日
伊方3号機 再稼働か 月内にも工事計画認可	3.17	中国
G7 資料館の訪問調整 慰霊碑に献花も	3.19	中国
核使用「違憲ではない」 内閣法制局長官が言及	3.19	中国
中高生、平和を考える 広島で青少年外相会合	3.20	朝日
平和公園のイチョウ8本 45年前の記念樹と確認	3.21	中国
放射線 正確に測定 原発被災者に伝える 広大名誉教授	3.22	朝日

原爆症 国の姿勢問う 安佐南区 内藤さん	3.23	朝日
オバマ氏の広島訪問「検討」 米国務長官	3.24	朝日
伊方1号機 5月廃炉 四国電 40年原発 延長断念	3.26	中国
上関原発計画 撤回求め集会 山口市で反対派	3.27	中国
核なき世界へ声届け 「力より言葉で」外相会合プレイベント	3.28	朝日
核なき世界へ若者提言 外相会合控えフォーラム	3.28	中国

## 【 ご 案 内 】

■ 「第31回4.9反核燃の日全国集会」 「原水禁全国交流集会」

◇日 時 4月9日(土) 14時

◇場 所 反核燃の日全国集会(青森市 青い森公園)

※10日は、六ヶ所フィールドワーク

■ 「ストップ!戦争法」4月街頭署名行動

◇開催日 4月19日(火) 17時30分~18時30分

◇場 所 広島市八丁堀・福屋前

■ 4・26チェルノブイリデーの取り組み

〔座り込み行動〕

◇日 時 4月26日(火) 12時15分~12時45分

◇場 所 原爆慰霊碑前

〔講演会〕

◇日 時 4月26日(火) 18時~

◇場 所 自治労会館3階 大会議室

◇内 容 講演

講師: 振津かつみさん(内科医師・兵庫医科大学)

■ 平和といのちと人権を! 5・3ヒロシマ憲法集会

◇日 時 5月3日(火・祝) 13時~14時30分

◇会 場 広島市ハノーバー庭園

◇ゲスト 落合恵子さん(作家・戦争をさせない1000人委員会呼びかけ人)